



TANABE CONSULTING 2023-2024

新しいものを生み出す組織カルチャー研究会

ゲストご紹介資料

ビジネスの最前線を走る企業による実践型講義と現地視察で、

成功・失敗のリアルなポイントを学びます。

講義・視察を受けての提言とノウハウを

コンサルタントがわかりやすく統括し的確にサポート。

経営層との交流も図れ、

各社のノウハウを自社の強みに転換することができます。

ぜひ、ご参加ください！

▼ 詳しくはこちら

タナベ 研究会

検索



お申込み・詳細はタナベコンサルティングホームページ
または、担当コンサルタントまでお気軽にお尋ねください。



特定非営利活動法人 ファイアーレッズメディカルスポーツクラブ

理事長 森士氏

浦和学院を甲子園優勝へと導いた指導改革

1. 浦和学院を22回甲子園へと導いた指導方法
2. 個の集結が組織 自己研鑽の重要性
3. 絆(戦う集団) = 相乗効果を発揮出来る組織
4. チームマネジメント



ワークスマイルラボ

株式会社

ワークスマイルラボ

代表取締役 石井 聖博 氏

破綻寸前から希望就職先1位に！ 中小企業が取り組む70以上の働き方改革

1. 破綻寸前に追い込まれ、ビジネスモデルを大変革
事務機器メーカーから、『笑顔溢れるワークスタイル創造提案業』に！
2. 70以上の取組みの見える化を実施
『テレワーク』や『働き方改革』で、誰もが働きやすい職場づくり
3. 企業文化づくりは採用から
中小企業が勝てる『ビジョン採用』とは？



株式会社 フェリシモ

広報部 部長 吉川 貴志 氏
フェリシモ「猫部」 部長 小木 のり子 氏
文化事業推進部 部門長 能勢 加奈子 氏

「ともにしあわせになるしあわせ」 をコアバリューに活動する フェリシモの事業性・独創性・社会性とその事例

1. フェリシモ社員が「ともにしあわせになるしあわせ」のもと、大切にしている事業性・独創性・社会性という3つの軸や社内部活動制度の実例
2. フェリシモ「猫部」が社員の「好き」という気持ちに焦点を当て「こんな商品があればいいのに」という想いを落とし込んだ商品企画
3. 「フェリシモ チョコレート ミュージアム」の施設開業の経緯や狙い、みどころを実際のミュージアム見学を通して体感



講演



視察

DMM.com

合同会社

DMM.com

人事部 マネージャー 下坂 信雅 氏
人事部 マネージャー 佐伯 彩果 氏

挑戦を支える組織風土はいかにつくられたか

1. 挑戦を支える人事の再出発

様々な業種業態やフェーズの事業、スピーディーな意思決定や変わりゆく経営環境に伴走する人事になるための、組織の再構築

キーワード：ビジョン、カルチャー、組織体制の再構築、事業部人事、組織内政治

2. 非連続の成長を遂げる組織力との向き合い

第二創業期のDMMにおいて、柱となる事業を作り出す「キードライバー」の採用や組織力への向き合い

そして、新しい事業へのチャレンジやダイナミックな戦略を推進するための人事制度の構築とカルチャー作り

キーワード：組織再編、外部登用、ハイクラス採用、オンボーディング、変革リーダーシップ、

事業撤退と人員再配置、M&A、PMI

3. 挑戦を後押しする人事の新たな取り組み

様々な業種業態やフェーズの事業、スピーディーな意思決定や変わりゆく経営環境に伴走する人事になるための、組織の再構築

キーワード：人事のビジョンの策定、カルチャーの言語化、組織体制



あつまる

株式会社

あつまる

代表取締役社長 石井 陽介 氏

日本における「働きがいのある会社」ランキング
3年連続日本1位

働きがいのある会社&オフィスの作り方と新卒採用

1. 新卒採用を中心とした組織づくりで付加価値平均121%成長。経営における採用の考え方とは
2. 地方でも不人気業種でも関係ない！成長し続けるための新卒採用必勝法
3. 「働きがい」も「業績向上」も叶える「クリエイティブオフィス」のススメ



とってもすてきな会社

TSK

TSK
株式会社

代表取締役会長 高木 悦郎 氏
代表取締役社長 高木 亮太 氏

自ら学び、成長する組織のつくりかた

1. 年間2,500件もの改善提案が上がってくるKAIZEN活動が組織に浸透するまでの挑戦や苦勞
2. 組織を活性化させる社員との向き合い方
3. 自ら学び、成長する組織をつくるための評価制度、教育システム



講演

株式会社 ホットファクトリー

取締役 藤井 純一 氏

日本一のチームをつくる ～北海道日本ハムファイターズの改革マネジメント～

東京時代の日本ハムファイターズは、人気がない、弱い、観客も疎らなチームだったそうです。親会社も球団の赤字補填も限界になり、本拠地の移転を考え北海道に移転されました。移転を契機に今までの親会社頼りの経営から、自立経営（スポーツビジネス）の球団に舵を切ることで、球団の存続をはかることになりました。講演では、北海道に移転し、自立経営に向けての経営改革と、社員の意識改革により北海道の皆様へ支持されるようになった過程を事例に基づいてご紹介いただきます。

1. スポーツ界での企業理念に沿った経営の実践
2. 自立経営に向けてのビジョンの構築
3. 会社の組織改革と社員の意識改革
4. 社員のモチベーションアップに向けての施策
5. ファンサービスファーストに向けた取り組み